

授業科目名	社会福祉の基礎
-------	---------

授業の概要	<p>本科目では、「社会福祉」の基礎的理解を得るために、以下の5つのテーマに基づき学習を進めていく。</p> <p>(1) 現代社会における社会福祉の意義と歴史の変遷及び社会福祉における子ども家庭支援の視点について理解する。</p> <p>(2) 社会福祉の制度や実施体系等について理解する。</p> <p>(3) 社会福祉における相談援助について理解する。</p> <p>(4) 社会福祉における利用者の保護に関わる仕組みについて理解する。</p> <p>(5) 社会福祉の動向と課題について理解する。</p>
授業の目的	<p>少子高齢化や貧困問題など、現代社会におけるさまざまな福祉的課題を理解するために、社会福祉の意義や歴史の変遷などの基本的知識を修得すること。</p> <p>また、関連法規や制度、対人援助の技術や多様な社会的支援について理解し、それらに主体的に取り組むための基礎的な力を養うことを本科目の目的とします。</p>
授業の到達目標	<p>(1) 社会福祉の理念と意義を理解し、社会構造やライフスタイルの変化を踏まえた様々な福祉課題について考察する力を身につけることができる。</p> <p>(2) 社会福祉の歴史を理解し、現代社会における社会福祉の意義や役割について考える力を身につけることができる。</p> <p>(3) 対人援助の技術や多様な社会的支援の技術や方法の基礎を理解し、社会福祉援助に係る諸課題に取り組む力を身につけることができる。</p>
卒業認定・学位授与の方針との関連性	<p>・DP1：知識・理解、DP3関心・意欲に該当する。DP2：思考・判断に一部該当する。</p>
授業の計画と内容	<p>【本科目は全ての回をオンラインで実施します】【オンデマンド 教科書中心型】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス、現代社会と福祉問題 2. 社会福祉の理念 3. 諸外国における社会福祉のあゆみ 4. 我が国における社会福祉のあゆみ 5. 社会福祉の法・制度の基礎 6. 社会福祉の機関、施設と専門職 7. 国民の生活を支える社会保障制度の基礎（1）社会保険制度 8. 国民の生活を支える社会保障制度の基礎（2）公的扶助 9. 子ども家庭福祉 10. 障害者福祉 11. 高齢者福祉と介護保険制度 12. 社会福祉における支援活動の概要 13. 福祉サービスの利用者支援と権利擁護 14. 地域福祉の進展と多様な社会的支援制度 15. 全体のまとめ（これからの社会福祉について考える） <p>定期試験（レポート）</p>

教科書

書名	著者	出版社	ISBN	備考
社会福祉を学ぶ [第5版]	山田美津子・稲葉光彦 編	株式会社みらい	9784860156107	出版年:2024 金額(参考):2,640

参考書

書名	著者	出版社	ISBN	備考
七訂 栄養士・管理栄養士をめざす人の社会福祉	岩松珠美・真鍋頭久 編	株式会社みらい	9784860156565	出版年:2025 金額(参考):2,860
社会的養護Ⅰ・Ⅱ－社会的養護の理念と実践－	中野菜穂子・東俊一 編	株式会社みらい	9784860156336	出版年:2024 金額(参考):2,640
新・子ども家庭福祉 [第2版]	浦田雅夫 編著	教育情報出版	9784909378644	出版年:2024 金額(参考):2,200
よりそい支える社会的養護Ⅰ	中山正雄 監修・浦田雅夫 編著	教育情報出版	9784909378224	出版年:2023 金額(参考):2,497
よりそい支える社会的養護Ⅱ	中山正雄 監修・浦田雅夫 編著	教育情報出版	9784909378330	出版年:2023 金額(参考):1,991

成績評価の方法	<p>・試験60% 授業内に提示する課題40% として総合的に評価する。</p> <p>・原則として、4/5以上の出席が無い場合は不可とします。</p> <p>※出席は、毎回の授業で課すレポート課題の提出により確認します（各回ごとに提出期限を設けますので注意してください）。</p>
---------	---

成績評価の基準	<p>到達目標に掲げた3つの項目を満たすこと、及び、以下の内容を成績評価の方法とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉の意義、社会福祉における各種の支援の視点について理解しているか（主にDP1に関連する）。 ・社会福祉の制度や実施体系について具体的に理解しているか（主にDP1及び2に関連する）。 ・相談援助、利用者の保護に関わる仕組みの基礎について理解しているか（主にDP1及び2に関連する）。 ・社会福祉の動向を把握し、その変化に関心を持ち、考察することができているか（主にDP3に関連する）。
フィードバックの方法	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて、ポータルサイト（UNIPA）やメールを活用してフィードバックを行います。
授業時間外学修	<p>事前学習（予習）1時間 テキスト、配付資料を精読し不明な箇所、興味のある箇所などを確認しておく。</p> <p>事後学習（復習）3時間 授業毎に課す練習問題に取り組む。その上で不明な箇所がある場合は、教科書、配付資料、授業動画、ノート等をもとに学修事項を振り返る。</p>
実務経験のある教員の授業内容	<p>障害のある子どもの教育に関する実務経験を踏まえて、社会福祉の考え方、福祉制度や施策等の基礎について学習を進めていきます。</p>
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の連絡、資料の配布については主にポータルサイト（UNIPA）で行います。 ・授業内に提示する課題には提出期限を設けます。提出期限を過ぎたものについては受け付けませんので注意してください。 ・授業課題の実施においてはポータルサイト（UNIPA）やFormsの機能を使用します。